

ネットワークカメラが実現する『ゼロ距離マネジメント』

パナソニック コミュニケーションズでは、ネットワークカメラを使った多店舗経営・業務管理ソリューション「ゼロ距離マネジメント (ZDM)」を推進し、既に国内外に多くの実績を築いている。ゼロ距離マネジメントとは、離れた場所にある拠点の管理を、ネットワークカメラを活用することで現地に行くことなく管理運用を行うことをいう。物理的には存在する「距離」を実際の運用上は「ゼロ」と同じような状態にし、あたかも現場にいるかのような形でマネジメントを進めることで業務効率の改善を行うことを意味する。

簡単に導入できてすぐに成果の出る有効な業務改革ツールとして、ネットワークカメラが急速に広がっている。使い方は、飲食店や小売店など多店舗チェーン店における、オーナーや管理者による全店舗の集中管理といった用途が多いが、さらに工場や事務所、幼稚園、学校、学習塾、病院、神社仏閣など様々な分野で活用されている。

これらの「モニタリング型」の他に「情報公開型」も出始めている。

コインランドリーなどの事例では、カメラの画像(個人を特定できないレベル)をインターネット上で公開することにより、顧客の待ち時間削減と経営者の店舗管理やトラブル対応などに活用している例や、観光地のライブ映像や紅葉の見ごろ、スキー場の積雪情報などを画像情報で提供し、顧客満足度を高めている例もある。

近年、都市部で急速に増加しているサービスにコインパーキングがある。コインパーキングは、短時間単位で利用ができ且つ低料金というのが都市部の車事情に適したサービスとして人気がある。

しかし一方では、駐車台数の少な

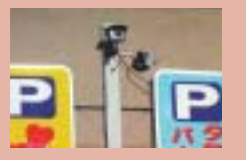
い拠点が点在するため、管理する側には工数の負担もある。

ここでは、ネットワークカメラが効果

を発揮し、課題を解決、業務効率化を実現しているアイパークシステムズ株式会社の例を紹介する。

ネットワークカメラをフル活用したコインパーキングモニタリング

(アイパークシステムズ株式会社)



大阪市内を中心に駐車場の経営からコンサルティング、関連設備の販売、保守などを行うアイパークシステムズでは、ネットワークカメラを活用し、24時間無人で運用されるコインパーキングの運用管理を行っている。

現在、200カ所以上の駐車場で500台以上のネットワークカメラが稼働している。

ネットワークカメラの映像は、インターネットを経由して本社のモニタリングルームで確認されると共に録画、保存もされる(図)。

駐車場への入出場や支払い記録などを管理するシステムにネットワークカメラの映像を組み合わせ、問題が発生した際に迅速に対応できる仕組みを構築している。

駐車場でトラブルが発生した場合に

も、その日時から、その時の映像を確認することができ、事後処理もスムーズに行うことが可能となった。

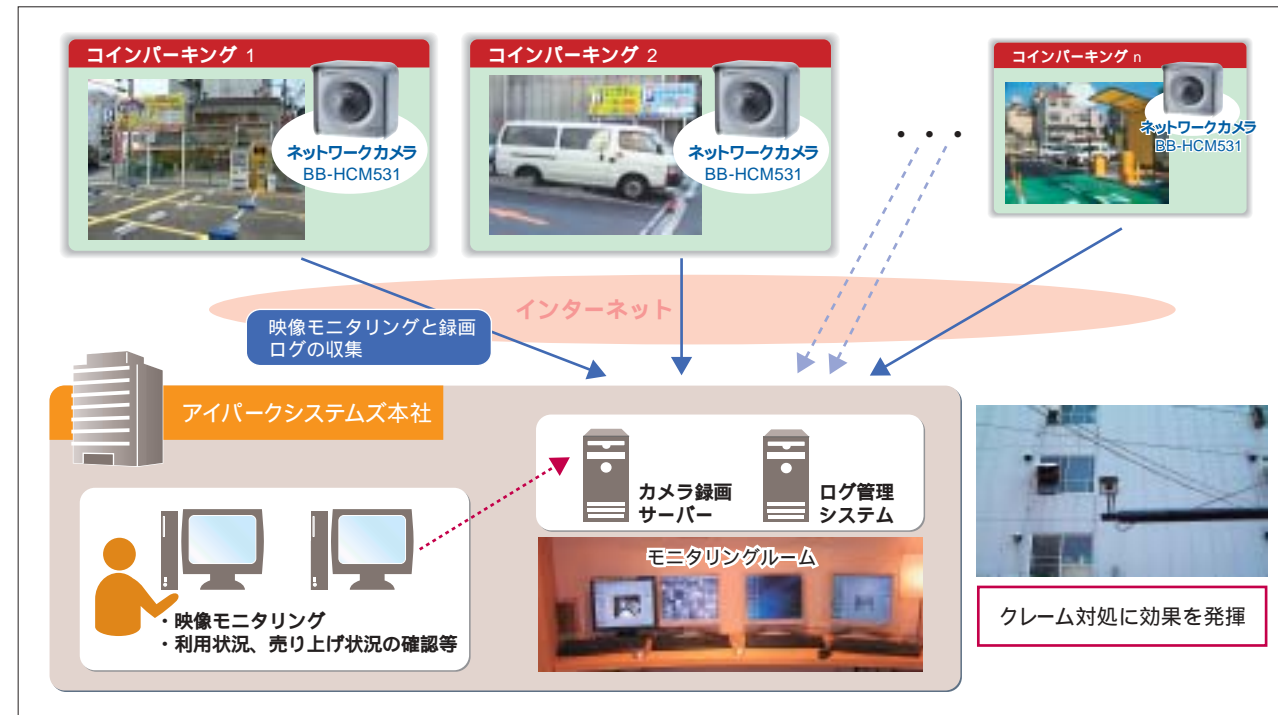
これまで「お金を払ったのに車止めが下りず車が破損した」といったクレームには、設備側に問題がなかったことを証明できずに修理代を何十万円も負担しなければならないことがあった。

ネットワークカメラ導入後は、その時の映像を確認することで何が問題であったかを特定することが出来るようになり、これらの負担が殆ど無くなった。また、「お金を入れたのに車止めが下りない」といった電話がかかることもあるが、実際には100円を入れたつもりが10円であったなど顧客側の勘違いである場合も多く、ログの照合と同時に実際の場面をモニターで見ながら対応することが可能となり、効率アップにつながった。その他、初心者ドライバーが、車止めを超えて背後の壁を破損するなどのトラブルもあったが、その際にも録画した画像が解決に有効となった。

機器選定のポイント

ネットワークカメラの導入には、以下

みえますねっとサービスの併用で多拠点のモニタリングが容易に



の3点を考慮した。

システム構築の容易さ

第一のポイントは簡単に導入できる点である。

ネットワークカメラはwebサーバー機能を内蔵しており、パソコン同様にLANに接続して簡単な設定をするだけですぐに使用できる。カメラ自体の価格も数年前に比べて低価格化が進み、コスト面でも納得して導入できるレベルとなった。

みえますねっとサービス

モニタリングルームでは、多数のカメラを集中管理することとなる。課題が発生したときなど、どの駐車場の、どこに設置されたカメラ画像が有効であるのかを、直ぐに判断する必要がある。

そこで、各カメラに分かりやすい名前をつけて管理ができる「みえますねっとサービス」が有効となった。

みえますねっとサービスとは、パナソニックコミュニケーションズ社製ネットワークカメラ向けに提供されるダイ

ナミックDNSサービスである。

有償で行われるサービスではあるが、サービス内容とともにサポートも充実しており、信頼性と安心感から十分な価値を見出している

実績とトータルなサポート力

離れた場所で使用するために信頼性確保は重要な要素となる。豊富な納入実績と、導入、運用時における要望事項に対応できるトータルなサポート力を比較検討した結果で機器を決定した。

以上のように、アイパークシステムズでは、ネットワークカメラが離れた場所の情報をリアルタイムで伝え、情報を残すことで業務の効率化やトラブル解決に役立っている。

さらなる用途拡大へ

パナソニックコミュニケーションズは、ネットワークカメラのリーディングカンパニーとして、多彩な商品ラインナップを持ち、幅広いユーザーニーズに対応してきている。

(http://panasonic.biz/bb/)

MPEG-4/Motion JPEGデュアル対応、42倍ズーム、PoE、SDHCメモリーカード対応などのBB-HCM581(税込み136,290円)や標準的なCCDタイプBB-HCM511(税込み73,290円)など全9モデルのラインナップと、これらを使用する上で有効な録画用ソフトウェアやテレビモニタリングユニットなどのオプション群も豊富に存在する。

また、みえますねっとサービス、みえますねっとLiteサービス(http://panasonic.co.jp/enet/mnet/)といった有効なサービスも存在する。

今後も市場動向、要望に対応した新たな商品開発、商品化を進めると共に、CGIコマンドなどの技術情報の公開を行うことで様々な用途に対応して行く。

お問い合わせ先

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ホームネットワークカンパニー
福岡県福岡市博多区美野島4-1-62
TEL:092-477-1853

ユーザープロフィール

アイパークシステムズ株式会社

会社名: アイパークシステムズ株式会社 http://www.aipark.co.jp/

本社所在地: 大阪府中央区船場町2丁目2番4号

事業内容: 駐車場経営並びにコンサルティング業務/駐車場管理装置の設計、施工、関連機器類の販売及び保守点検など

導入目的: クレーム対処、業務効率の向上

システム構成: ネットワークカメラ パナソニックBBシリーズ×500台(2007年11月現在)

みえますねっとサービス